

中学校 技術・家庭科 第24回
全国中学生創造ものづくり
教育フェア in かながわ

募集要項

2024年11月2日(土)
湘南工科大学

- | | |
|------|--|
| ●主 催 | 神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 |
| ●後 援 | 神奈川県公立中学校長会
神奈川県公立中学校教育研究会
神奈川県中学校文化連盟 |
| ●協 賛 | 学校法人 湘南工科大学 湘南工科大学附属高等学校
株式会社テクノ教育
株式会社相場教材センター
株式会社中村教育システム
有限会社美 工 社 |

関東大会・全国大会の期日・会場について

●関東甲信越地区大会・栃木大会

2024年(令和6年) 11月30日(土)・12月1日(日)

藤岡市総合学習センター ☎375-0024 群馬県藤岡市藤岡1485番地

●全国大会

2025年(令和7年) 1月25日(土)・2月1日(土)・2月2日(日)

東京都立六郷工科高等学校 / 女子栄養大学 / 湘南工科大学

※「体験コーナー」, 「教材・器具等の紹介」は開催しません。

※最新の情報は全日中技家研 HP のほか, 県技家研合同委員会でもお知らせいたします。

I 開催の趣旨

21世紀に入り、世界ではIT（情報技術）革命、宇宙科学の進歩、地球環境の改善など、新たな科学技術が日進月歩で開発されている。これに伴い、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として重要性を増す「知識基盤社会」の時代になっている。そんななか、我が国の科学技術・製造技術は、世界に誇れる技術力（ものづくりの力）を持ち続けてきた。

しかしながら、我が国の若者達は、「科学技術離れ」、「ものづくりの体験の不足」や、「身の回りにおけるものづくり環境の減少」が顕著であり、これらが教育的な課題になっている。これらの課題を早急に解決していかなければ、21世紀の世界の激しい技術開発競争に、我が国は勝ち残っていくことができなくなってしまうのではないだろうか。

このようななか、1999年（平成11年）に「ものづくり基盤技術振興基本法」が法案化され、基本計画が制定された。この基本計画は、我が国がもっている本来の技術力をより一層高め、高度な技術者を育成する「ものづくり教育」の充実・発展を進める具体的な施策である。このことにより、「ものづくりに関する学習」が企業をはじめ、大学、高等専門学校、小中学校で進められることになったが、「ものづくり教育」を学校教育の学習体系として進めている教科は、義務教育においては中学校における技術・家庭科だけである。

私ども神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会（以下、県技家研）は、教科発足以来約50年間、その時代の社会の変化に適応する人材育成のために、「ものづくり 人づくり 国づくり」を教育の理念として実践を進めてきた。「ものづくり」の実践的・体験的な学習を通し、進んで生活を工夫し創造する能力と、創造性を発揮し生活の自立を図り、持続可能な社会を構築できる「人づくり」に取り組んできているところである。まさに、この教科教育の理念や具体的な実践は、世界に通用する日本人の基礎的な資質（国づくり）を育成する教育であり、ものづくり基本法に則った「ものづくり学習」だと受け止めている。

そこで、県技家研（略）では、中学校の技術・家庭科において「ものづくり学習」を実践してきた生徒達の教育的成果を発表し、本教科の「ものづくり 人づくり 国づくり」の教育理念を県民の皆様や一人でも多くの小中学生に御理解いただくとともに、これからの「ものづくり教育」の発展・充実のために、神奈川県公立中学校教育研究会、神奈川県中学校文化連盟からの後援を受け、次のような目的をもった“全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ”を開催するものである。

- 1 中学生が知識や道具を駆使して、様々な条件のもとで最適解を見付け、進んで生活を工夫し創造することを学んだ、技術・家庭科の実践発表の場とする。
- 2 未来への飛躍を実現する人材を育成するために、多様な体験と切磋琢磨の機会を増大し、学習意欲やものづくりへの製作（制作）意欲の向上を図る。
- 3 優れた能力と多様な個性を伸ばす技術・家庭科の学習内容を、広く県民の皆様知らせるとともに、全県の技術・家庭科教員の指導力向上を目指す研修の場とする。

II 会場について

湘南工科大学

〒251-8511

神奈川県藤沢市辻堂西海岸一丁目1番25号

鉄道 JR 東海道線「辻堂駅」南口 徒歩15分

バス 「浜見山」「浜見山降車場」 徒歩3分

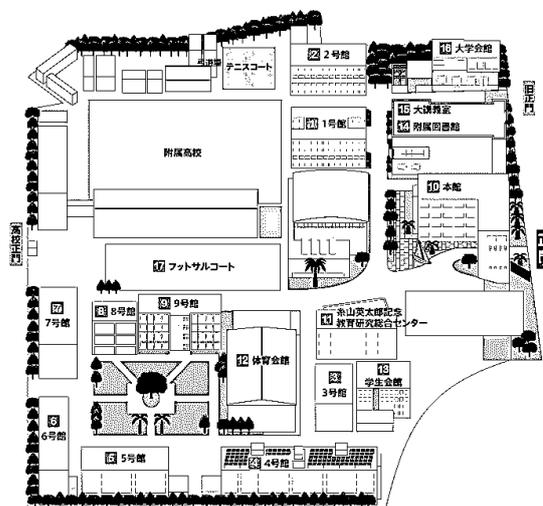
電話 大学への電話でのお問合せはおやめください

会場周辺地図



※Google マップより引用

校舎構内図



Ⅲ 各部門の案内

第24回全国中学生ものづくり教育フェア in かながわは、全部門集合型開催となり2年目の大会となります。昨年度に引き続き、技術や生活の営みに係る見方・考え方を働かせる者同士が一同に会し、互いの製作活動にかける思いを認め合いながら競技を行う、本大会本来の運営方法により実施いたします。なお、県大会の順位（成績）によって全国大会等の上位大会進出が決定しますが、ルールは県大会と上位大会で大きく異なる場合があります。それでは、今年度の各部門の競技を紹介します。

	部門名	部門概要	担当事務局
1	生徒作品コンクール	作品コンクールは、「Ⅰ 授業内製作部門」と「Ⅱ 自主製作作品部門」の2部門に分かれています。授業内製作部門には、総合的な学習の時間や放課後活動等の作品は含みません。自主製作作品部門は、長期休業・放課後活動等において、技術・家庭科で学んだ知識や技術を発揮して創造・製作した作品です。技術分野・家庭分野、Ⅰ部門・Ⅱ部門あわせて計6点を全国大会へ出品する予定です。	藤沢市立藤ヶ岡中学校 教諭 石井美咲 (書記) 0466-26-5197
2	木工チャレンジコンテスト	木材を使って課題に則ったオリジナル木工製品の製作とプレゼンテーションを行う競技です。上位1名は全国大会一次予選へ推薦します。	横浜市立舞岡中学校 教諭 向井大貴 (書記) 045-822-2722
3	「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール	オリジナルアイデアバッグの製作と作品発表の競技です。上位2名は関東甲信越地区大会に出品され、そのなかの上位に選ばれると全国大会に出場します。	川崎市立西中原中学校 教諭 外間愛理 (会計) 044-777-2239
4	「あなたのためのおべんとう」コンクール	オリジナルのおべんとうづくりとプレゼンテーションの競技です。優勝チームは全国大会書類選考に推薦され、審査の結果により全国大会出場が決まります。	相模原市立弥栄中学校 教諭 中瀬有喜 (家庭部長) 042-758-0252
5	創造アイデアロボットコンテスト	競技は、「基礎部門」「計測・制御部門」「応用・発展部門」「映像部門」の4つの部門に分かれています。それぞれの規格や課題に対応するロボットを製作し、そのロボット同士で対戦する競技です。それぞれの部門から3チームが関東甲信越地区大会に進み、上位の成績を残すと全国大会に出場します。	茅ヶ崎市立松浪中学校 教諭 坪田 柁人 (技術部長) 0467-85-1127
6	プログラミングコンテスト体験コーナー	生活や社会における問題を「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決ができる」ことを目的とし、プログラミングの創造力、論理的な思考力を競います。第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわでは、毎日パソコン入力コンクール事務局の御協力のもと、「体験コーナー」を実施します。	相模原市立大野北中学校 教諭 上條 浩之 (書記) 042-752-2022

IV 参加日程・準備日程

○ 令和6年度 フェア運営担当地区……………**県央地区**

厚木市 大和市 愛甲郡愛川町 愛甲郡清川村 座間市 海老名市 綾瀬市

○ 令和6年度 参加応募書提出期日（参加申込締切）……………**2024年9月5日(木)**

○ 県技家研合同委員の役割

- 1 フェア委員は、同地区の研究委員、広報委員と連携し、合同委員会で伝達された大会情報を各地区に周知し、参加者の募集に努めてください。
- 2 特に県央地区のフェア委員は、比留川副部長と連携し、県央地区の技術・家庭科職員が協力役員としてフェア運営委員会（10月18日^金16:10～）に参加されますので、事前に伝達すべきことがあれば周知徹底方よろしく願いいたします。
- 3 運営要項が確定すると、各地区に事前の準備をお願いすることが明らかになってくるので、御準備のほどよろしく願いします。
- 4 運営委員として前日及び当日は割り振られた部門における御協力をお願いいたします。

○ 県央地区技術・家庭科職員の役割

- 1 協力役員としてフェア運営委員会（10月18日^金16:10～）に参加して、事前の準備や前日準備、当日の大会運営に御協力をお願いいたします。

	参加者	県央地区 (協力役員)	フェア・合同委員 (運営委員)	フェア事務局員 (運営役員)
合同委員会(1) 6/12 ^木			各地区に伝達	募集要項提案(1) (概案のみ)
合同委員会(2) 7/4 ^木	参加申込締切 9/5 ^木		各地区に伝達	募集要項提案(2) (確定版)
合同委員会(3) 9/6 ^金			県央地区に伝達	運営要項提案(1) (検討版)
フェア運営委 10/18 ^金		フェア準備 (地区における)	フェア準備 (地区における)	運営要項提案(2) (確定版)
前日準備 11/1 ^金		フェア準備 (会場における)	フェア準備 (会場における)	大会プログラム 編集・発行
当日 11/2 ^土	参加・観戦・体験	協力役員	運営委員	運営役員

◇この資料についてのお問合せは次に示す連絡先までお願いいたします◇
神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
川崎市立南大師中学校 教諭 矢坂 健太郎（フェア事務局長）
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 24 番地の 1
電話 044-266-2125 ファクシミリ 044-287-4071
E-mail アドレス t2005745@kawasaki-edu.ed.jp